

ROSS, R., COX, E.J., KARAYEVA, N.I., MANN, D.G.,
PADDOCK, T.B.B., SIMONSEN, R. & SIMS, P.A.
1979. An amended terminology for the siliceous
components of the diatom Cell. Nova Hedwigia
Beih. 64: 513-533.
SIMONSEN, R. 1987. Atlas and catalogue of the

diatom types of FRIEDRICH HUSTEDT. Vol. 1-3.
J. Cramer, Stuttgart.
SIMS, P.A. & PADDOCK, T.B.B. 1979. Observations
and comments on some prominent morphologi-
cal features of naviculoid genera. Nova Hedwigia
Beih. 64: 169-191.

出井雅彦*・小林 弘**：底生珪藻 *Diploneis marginestriata* HUST. の光顕
及び電顕による研究

本邦及びフィンランドより得た *D. marginestriata* について光顕及び電顕を用い観察した。フィンランドのものは小型で *D. oculata* に非常に類似していたが、微細構造の点では両国産のものは基本的に同一であった。本種には少なくとも本属では全く知られていない二つの特徴的な構造が見られた。一つは長胞内に張り出した長いフラップであり、もう一つは縦走管の外壁の開口である。(*305 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学生物科学系、**184 東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学生物学教室)

ニ ュ ー ス

1. 第4回国際植物バイオシステムティックス・シン
ポジウム

第4回国際植物バイオシステムティックス・シンポ
ジウム (4th International Symposium of Plant Bio-
systematics) は、1989年7月10~14日に京都市・京都
会館(予定)で開催されることになりました。

この会議は、植物の種生物学およびバイオシステ
マティックス(種分類学)に関する進化的研究の成果を
発表・討論するため、3年ごとに開催される国際会議
であります。主要議題として、1)Biology and Evolu-
tion of Weeds and Crops. 2)Molecular Approach in
Plant Biosystematics. 3)Population Biology and Life
History Evolution. 4)Biosystematics in Lower Plant
Groups, が挙げられており、藻類に関する講演も予定
されています。

このシンポジウムに関する詳しい問い合わせ先：
〒606 京都市左京区北白川追分町 京都大学理学部植
物学教室 河野昭一

2. 第5回国際微生物生態学シンポジウム

第5回国際微生物生態学シンポジウム(The Fifth
International Symposium on Microbial Ecology)は、
1989年8月27日-9月1日に京都市・国立京都国際会
館で開催されます。

この会議は、生態系における微生物の存在のメカニ
ズムとその機能の発現を正しく把握するための研究の
成果を発表・討論するために、3年ごとに開催される
国際会議であります。今回の会議では、微生物の持
つ多様な生化学的能力の種々の分野での利用、新遺伝
子資源としての可能性、人工微生物の自然界での挙動
の問題などとともに、藻類の異常発生も主要題目の一
つとして取り挙げられています。

このシンポジウムに関する詳しい問い合わせ先：
〒164 東京都中野区南台1-15-1 東京大学海洋研究所
清水 潮。

(中原紘之, 〒625 京都府舞鶴市長浜 京都大学
農学部附属水産実験所)

Further Notes

Since the submission of this manuscript in December, 1987, the second generation of the Peurato Rican isolate 2756 has reproduced. The carpospores derived from first generation gametophytes developed into 11

unisexual males (24%), 12 bisexual gametophytes (27%), 2 mixed-phase plants (one male with tetrasporangial stichidia and one bisexual gametophyte with tetrasporangial stichidia) and 20 tetrasporophytes (45%). Viable tetraspores are produced by the tetrasporophytes but mixed-phase plants have abortive tetrasporangia.

WEST J.A. and CALUMPONG, H.P.: 室内培養におけるコケモドキ属 (紅藻, イグス目) の mixed-phase reproduction I. コケモドキについて

プエルトリコ産の四分胞子体からの四分胞子は不動精子の存在下でのみ果胞子体を形成する両性, 単性の配偶体に発達する。果胞子は配偶体に発達する。フィリピン産の四分胞子体からの四分胞子は両性, 単性配偶体及び配偶体の procarpial stichidia 上に形成される non-functional な四分胞子囊をもつ mixed-phase 体に発達した。両性, 単性配偶体及び mixed-phase 体の造果枝は 2, 3, 4 個の細胞からなる。variable (成熟) する果胞子体は不動精子が存在すればプロカルプを生じている全ての植物体上に発達する。配偶体並びに mixed-phase 体からの果胞子は四分胞子体には発達せず, 再び両性, 単性配偶体及び mixed-phase 体に発達する。(Department of Botany, University of California, Berkeley, California 94720)

第13回国際海藻シンポジウムについて

第13回国際海藻シンポジウム (The XIIIth International Seaweed Symposium) は, すでに本誌第36巻第1号でお知らせしましたように, カナダのブリティッシュ・コロンビア大学で, 1989年8月13日(日)~18日(金)に開催されることが確定しました。研究発表申込の締切は1989年2月15日(必着)です。

参加登録料は, 2月15日までの申込については US \$240 (学生 140, 同伴者 50), 6月15日までの申込については US \$280 (学生 160, 同伴者 50), 6月15日以後の申込については US \$310 (学生 240, 同伴者

50) です。

研究発表申込および参加登録の用紙は, 下記のシンポジウム事務局に申し込んでください。本件に関するお問合せは, 東京水産大学 有賀祐勝宛にお願いします。

International Seaweed Symposium
Suite 801-750 Jervis Street
Vancouver, B.C.
CANADA V6E 2A9